

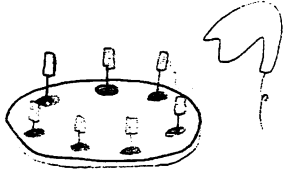
第2回 サイエンス・コ・ラボ 実験レポート

M・①1年 組 番 氏名 _____


期日	令和元年 6月29日	テーマ	酵素でバイオ発電
場所	南冥3F 化学室II	指導教官	東北大学大学院 工学研究科 教授 西澤 松彦 先生

1 実験記録 (機材、手順、実験内容など)

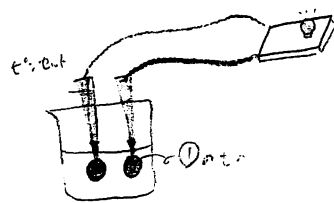
①



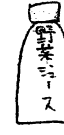
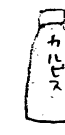


②



<シロ・スで発電!>




結果

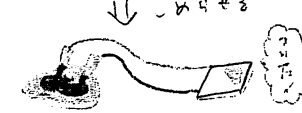
準備	 ↓ X	 ↓ O
	 ↓ O	 ↓ X

砂糖O
くせなし


<どら焼きでも発電!>



↓



あんこ



①の図の下に、3紙を置き、針で固定し、
酵素液 CNT を数滴たらす。
その後、どら焼きを乾かす。
裏面を同じようにする。
CNT ... カ・ホ・ナ・ホ・フ

①を、酵素液を入れた。
青色の溶液は赤色のピロセル。
黄色の溶液は黄色のピロセル

準備 OK!

どら焼きも発電した。
炭でも一度だけ発電した。下
ので、酵素 ... 死んだ ... 死んだ ...

2

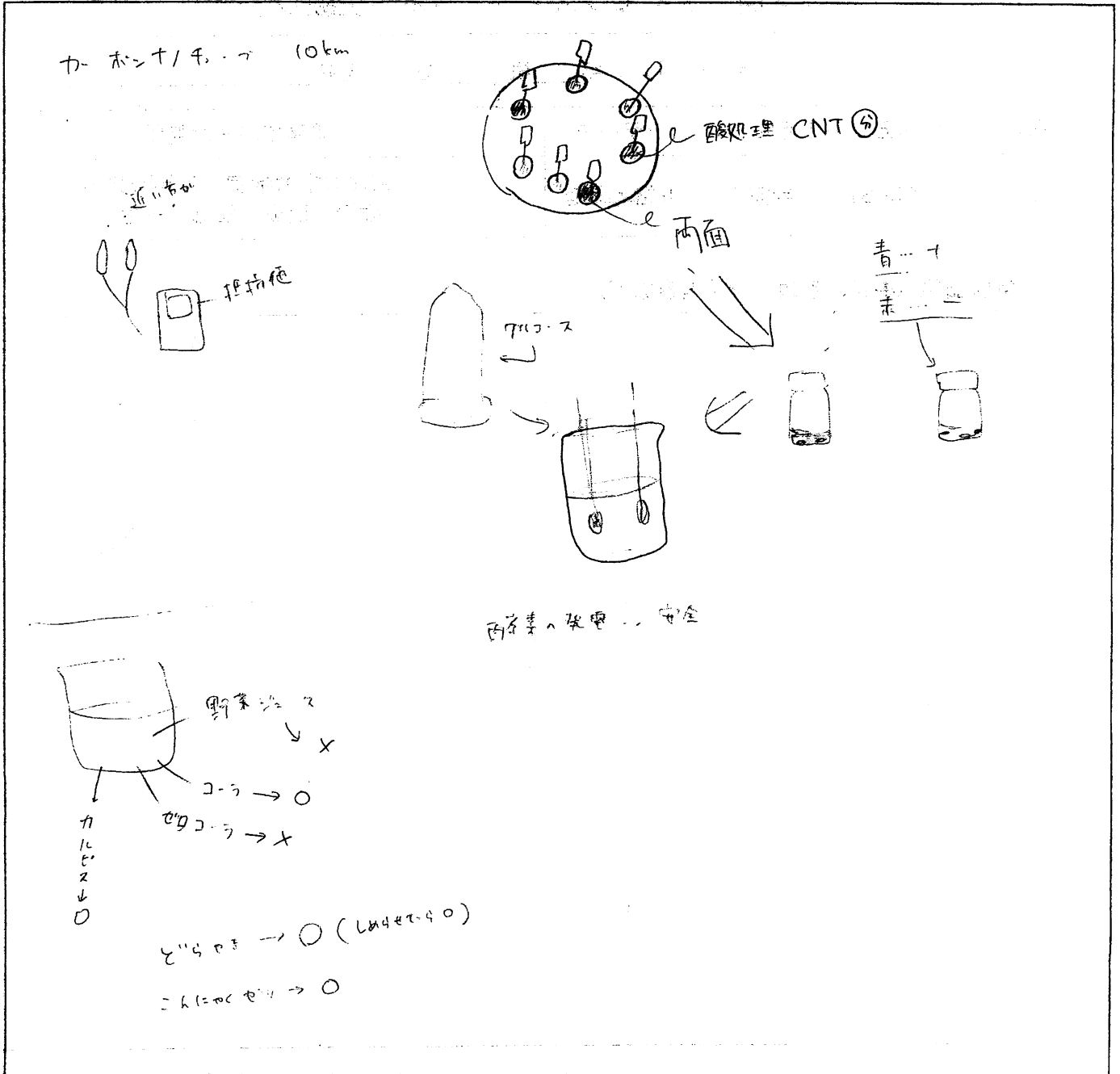
① 実験から解ったことや疑問点

ピロセルを便りとは、黄色のピロセルで正極の水溶液の方に3紙を入れた。と教習せられたが、
何が理由かあるか分からない。

② 興味深かった点

どら焼きが、指で力を加える関係で、炭の表面が、どら焼きの皮と一緒になった。
酵素も、少し甘かったのは、灯りがついていた。

3 講義メモ



4 感想

大学生の方の説明が優しく、丁寧に分かりやすかったので、

楽しく実験ができました。

私たちが普段飲んでいるもので発電ができることに驚いたのと同時に、

安全で簡単に発電できることに興味をもちました。

今回のサイエンス・コーラ杯に参加できて良かったです。